

富士急湘南バスのダイヤ改正についての町民説明会  
町民の方からのご意見

1月12日(金) 18:30～【湯の沢児童センター】

○バスを小型化して、経費を抑えたらどうか

(富士急) 一部の便で小型を実施している。しかし、経費の7割以上が人件費であり小型化による経費削減の効果はあまり見込めない。

○金曜の新松田駅22:00発はよく利用する便なので廃止しないでほしい

(富士急) その便の平均乗車人数は4.6人だが、起点から終点までずっとその人数が乗車しているのではなく途中乗車の方も含んだ数字となっている。起点から終点まで5人乗車が採算ラインである。

また、22:00に新松田駅を出て寄につくのが22:25、そこから駅に戻ってくると23:00を過ぎてしまう。そうすると運転手の休憩時間の関係から翌朝の便にも影響してくるため運行の継続は難しい。

○この地区は高齢者が多く、足柄上病院へ通院している人もたくさんいる。足柄上病院の初診受付は8:30からである。もう少し、ちょうどいい時間にバスを走らせてもらえないか。

(富士急) バスの行きかえりの関係で、寄発の時間を変更すると、戻りの新松田発の時間にも影響してくる。通勤、通学の関係もあるので、即答はできない。一つの意見として承る。

○ロウバイ祭りなど観光客が来るときには臨時便を出しているか

(富士急) 出している。駅に職員が立って、乗客の様子を見て臨機応変に増便対応している。

○足柄上病院に富士急バスの時刻表がないため、不便である。何度も病院にも申し入れをしているが改善されていない。

(富士急) 早急に対応させていただく。

○平日 13:50 新松田駅発のバスは小学生が通学に使っているため廃止は困る。13:05 の次の便は 15:05 であり、2 時間空いてしまうが、駅前に待つ場所もないので子どもには厳しい。

また、現在、下校時間とバスの時間が合わず、学校に協力してもらって帰りの会を途中退席して帰っている。難しいとは思いますが、将来寄と松田の小学校統合もありうるので、当下校時間に配慮したダイヤも検討してほしい。

(富士急) 町を通し、小学生の登下校時間の確認をし、検討する。

○新松田駅発、寄行き便の乗降が 3 番線になっているが、道路の真ん中で非常に危険である。乗り場を変更するか、安全に待てる場所をつくっていただけませんか。

(富士急) 1, 2 番線に乗り場を集約して、3 番線を降車番線にする方向で検討中である。そうすると寄線は 2 番線になり、危険が減るのではないかと考えている。

○駅前にバスを待つ場所がない。道の駅で待ってもいいことになっているが店には椅子がなく長い時間待てない。富士急の券売所で子どもを待たせておけないのか。

(富士急) 事務所は人が一人ぎりぎり入るスペースなので物理的に難しい。

○土休日の減便は多いが、この減便を実施することで経営改善が見込まれるのか。

(富士急) ほかの市町の路線の減便も含め、この減便を実施することである程度運転手の不足などもカバーできると考えている。

1月13日(土) 13:30～ 【寄中学校体育館】

○平日新松田駅発 13:50 は松田中学校の生徒も部活がないとき、4時間目の後、給食を食べて、掃除して帰るときの帰宅に使っている。また、その前の13:05の便も給食を食べた後掃除がないときの帰宅に使うので減便されるのは困る。

○土休日の新松田駅発の13:05と土曜の新松田駅発13:25のバスは中学生が部活動の時に使うので減便されるのは困る。中学生に駅前で1時間以上待たせるのは難しく、親が送迎しなければならない。

(富士急) 松田小学校の生徒の通学の話も出ているので、併せて町から教育委員会に確認してもらい検討したい。

○高齢者が多くなり免許返納が進むと公共交通の利用が重要になってくるが、なにか対策はしているか。

(富士急) 町と一緒に、まちなりパスや福祉パスなどの定期券の補助事業を行っていて、今後も継続していく。

○土休日の廃止が多い。土日の方が観光客など利用が多く、バスも増発しているようだが、観光客への対応は大丈夫か。

(富士急) ハイキングなど観光客のご利用が多い時間は残すよう配慮してあるので、大きな影響はないと考えている。

○平成31年に寄中学校と松田中学校が統合するが、通学についてはどう考えているか。

(松田町) 現状では、未定である。教育委員会で通学方法検討部会が開かれており検討しているところである。もし、通学バスを町で購入しても、それ以外の用途で使用するのには現実的に難しい。

○私は普段車に乗っているため、ほとんどバスを使っていないが、高齢になってくると、これから使うこともあると思うので、減便をされると困る。減便すると時間が合わず結果としてまた乗る人がへるのではないか。増便すれば、乗りやすくなり乗る人も増えると思う。町としてどうにかできないのか。

(富士急) 地方の路線バスについては、全国的な問題である。その中でも、今回の減便は会社として最小限に抑えたつもりである。いつでも乗れるような数の便を出すのは現実的に難しい。便のある時間に合わせていただくところもあるかと思う。

(松田町) 町としては過去にデマンドバスも出したが、やはり利用者が少なく廃止となった。現在も萱沼、長者橋経由の便に補助金を出している。また、今回の減便は経費だけの問題でもないので、現状では、これ以上の増便は難しい。ただ、バスの利用者が今後増えれば、これ以上減便が進むことはないのではないかと。

○早めに、新松田駅でバスを待ちたい場合に、待合場所がない。駅のそばに休憩所のようなものがあれば、通学の子どもも助かるのではないかと。

(松田町) 町で、新松田駅前の加藤化粧品をリニューアルすることを検討している。待合所として恒久的に使えるかは未定だが、実証実験としてやっていく予定である。

○平日の最終が早すぎる。増便ではなく、少しづつ時間をずらして、最終の時間を遅くできないか。

(富士急) 昨年、平日の遅い便がほしいという町民の声をうけ、実験としてやったが、結果として平均乗車人数が 1.6 人。ご希望にこたえる形で増便しても実際の乗車人数が伴わないと現実的には難しい。

○バス停のアナウンスで例えばタケ山と花じょろ道、ロウバイ祭りやさくら祭りなどを案内するといいいのではないかと。

(富士急) アナウンスは年に一度見直しているのですが、そのタイミングでお話のような案内を盛り込むことも考えていきたい。

○特別養護老人ホームで働いている。少数だが、マイカーがなく独居であるなどの条件の方だけ、週に1回施設の車で買い物に連れていくサービスを5年続けている。

減便は仕方ないところもあるが、高齢者の方のために移動販売車の立ち寄り先を増やすとか、通院の足を確保するなど、町として考えてもらえないか。

(松田町) 移動販売車の立ち寄り先を確認する。高齢者の方の移動手段は町としても今後検討する。

(そのほかご提案など)

○いつもバスを使っているが、遅い時間などは乗客が全然乗っておらず、自分も年に数回しか使っていない便などは減便も仕方ないと思う。ただ、これからさらに減便が進んでいくと車を持っていない人は困ってしまう。

○通学バスや福祉バスなど町でバスを増やしていくと、結局、路線バスの乗車人数が減り、より減便が進むのではないか。使用用途を限らず、だれでも乗れる路線バスの乗車人数が増えていくのが一番ではないのか。

1月13日(土) 18:30～ 【神山地域集会施設】

○移動手段は殆どバスである。乗っていると乗客がほとんどいない場合もあり、減便となるのも理解できる。ただ、移動手段がバスだけなので、これ以上減っていくとやはり不便である。

○なるべく歩くようにしているが、病院の帰りなどはやはりバスに乗りたいと思うが、神山経由の最終便は時間が早く、なかなか乗れない。

○暗い時間に歩いて帰るのは危ないので、夕方から夜にかけて神山経由を走らせてほしい。

(富士急) 神山経由については上茶屋などほかのエリアとの兼ね合いもあるのですぐには難しい。

○今回の減便は下曽我行などもふくめ、神山にとっては、そこまで大きな減便ではないと思うが、高齢化で病院や役場にバスを使う人がこれから増えるのでは。神山は新松田駅方面と、国府津方面がある。どちらか片方は残すようダイヤに配慮してほしい。

(富士急) 国府津方面については小田原市さんや関係企業と現在協議中であるので、今のご意見も含め検討していく。

○減便は致し方ない部分もあるが、乗客を増やしていく努力もしてほしい。

(富士急) 前回の説明会で病院などに時刻表を掲示したらというご提案もいただいている。乗車人数を増やす努力はこちらもしていきたい。